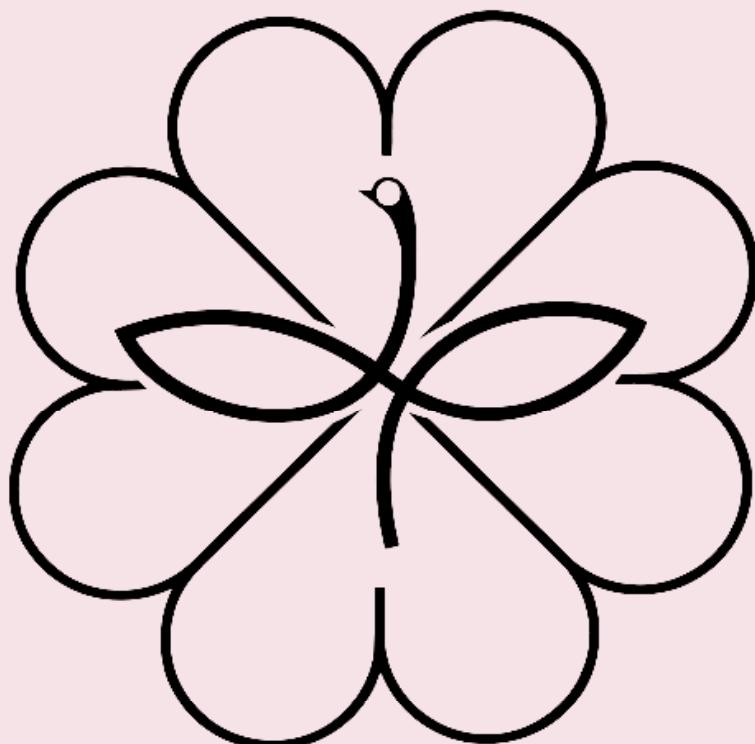


みんなが安心して暮らせるまちのために
あなたのまちの相談相手

特集 民生委員のお仕事



この絵を知っていますか？

これは「民生委員・児童委員」のマークです。幸せの芽生えを示す四つ葉のクローバーを背景に、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルのハートをかたどって、愛情と奉仕を表しています。

民生委員・児童委員は厚生労働大臣から委嘱されており、全国で約23万人います。活動に必要な経費を除き、報酬はありません。現在土岐市では150人の委員の皆さんのが、小学校区ごとの9地区で活動しています。民生委員・児童委員は、地域住民の一員として、さまざまな相談を受けたり、心配事や困り事を解決するお手伝いをしたりしています。「あなたのまちの相談相手」である民生委員・児童委員の普段行っている活動とその思いをお伝えします。

高齢者の方々が地域で安心して暮らせるように

見守り訪問



土岐市民生児童委員協議会
会長 伊藤隆明さん



左) 民生委員・児童委員手帳
下) お知らせなどをお渡しする際も、いつも昔話などに花が咲きます



現在活動している委員の任期は今年の11月30日まで、一齊改選が行われます。地区ごとに候補者の選出が行われますので、皆さんのご協力をお願いします。



伊藤会長に聞きました

土岐市民生児童委員協議会のいろいろ

■どんな活動をしていますか？

主に二つの活動をしています。一つ目は、一人暮らしの高齢者や障がい者の見守り訪問です。相手と信頼関係を築き、日常生活におけるさまざまな相談に耳を傾けています。二つ目は、将来を担う子どもたちの安全を守るために、家庭内でトラブルがあれば、その問題解決に当たることです。

■少子高齢化時代を迎え、民生委員・児童委員の役割は？

子どもの数は減ってきていますが、児童虐待の通告件数は増えてきています。また、一人暮らしの高齢者の方も増えてきていますので、今後委員が担う役割はますます大きくなると思います。

■現在どのくらい活動していますか？

訪問するお宅も増えていますし、地域の方からの相談件数も増えていますので、活動日数も年々増えています。委員1人当たり年間100日以上活動しています。

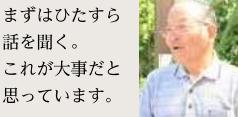
■相談を受けたら？

地域の方から相談を受けたらよく話を聞いて、内容に応じて市役所福祉部門や児童相談所、ケアマネージャーなど専門機関につなげて解決のお手伝いをします。

■土岐市民生児童委員協議会の今後は？

まだまだ民生委員・児童委員の事を知らない方も多いと思います。委員の存在をより多くの方に知ってもらうことが大事ですね。

市民の皆さんには、生活に困った事があったら地域の委員に相談してください。



肥田地区民生児童委員協議会
会長 林辰三さん

まずはひたすら話を聞く。
これが大事だと思っています。



土岐市民生児童委員協議会の活動の一つに、お一人で住む高齢者宅への定期的な訪問が挙げられます。民生委員・児童委員の林さんが、担当区内にお一人で住む女性のお宅を訪ねました。何気ないやり取りを大切にしているという林さん。「ヒマワリの芽は出た?」と声を掛け、終始笑顔でいろいろな話をしていました。「林さんの訪問はとてもうれしくて、毎回楽しみにしています」と話す女性の表情からは、林さんへの大きな信頼が伺えました。

学校訪問

地域の子どもは地域で育てる

見守り訪問

民生委員・児童委員の活動は近年多様化していますが、高齢者への支援とともに活動の中心にあるのが、子どもとその家族への支援です。委員の中には、担当地域を持たずに児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」があります。主任児童委員の林さんと松本裕聖さんが肥田小学校を訪問し、先生から今の学校の雰囲気や児童の様子などを聞いていました。日頃から肥田町の他の委員と情報共有し、地域の子どもたちの見守りをしています。さらに家庭の様子だけでは分からぬこともありますので、小・中学校や保育園、幼稚園を訪れているそうです。

「子どもが犠牲になる痛ましい事件が全国的に起きています。どんな虐待でも、最初は小さな事から始まります。見守り活動をすることで小さな芽のうちに摘み取らたいと思っています。地域の子どもは地域で育てる、という気持ちで活動を行っています」と林さんは話してくれました。

